

今号の内容

1. 登米地域の農業農村の魅力が満載です！ P1
2. 登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議 P2
3. 農地整備事業における農地集積、営農計画関係研修会 P2
4. 水難事故防止について P3
5. プレキャスト吸水槽施工の所内現地研修を実施しました P3
6. 土地改良区の女性職員・若手職員の研修会を開催しました P4

1 登米地域の農業農村の魅力が満載です！ ～NN 部内フォトコンテスト～

登米管内の農村地域における四季折々の写真を当部の広報活動に活用することを目的として、NN 部内フォトコンテストを開催しました。本コンテストは昨年度から実施しており 2 回目となります。今年度も当部職員から素晴らしい作品が多数寄せられ、応募総数 42 点より、厳正な選考を経て優秀作品 5 点が決定しました。

選考された作品は、登米合庁 5 階農業農村整備部入口の掲示板と執務室内に掲示しています。また、応募された写真の一部を R8 年度版の登米地域概要図等に掲載する予定です。是非ご覧ください。

今後も、本コンテストを通して、登米地域の農業農村の魅力を発信していきます。

第1位



長沼フートピア水車

第2位



米川 棒掛けと秋の空

部長賞



防災重点ため池梅ヶ沢ため池

総括次長賞



高収益作物(沼崎・大平地区)

総括次長賞



米山町(穴山幹線用水路)

※写真の掲載はご本人より承諾をいただいています。

2

令和7年度登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議

令和7年度第3回登米地方農業水利施設ストックマネジメント推進会議を2月3日（火）に登米合同庁舎において開催しました。

今回は施設管理者22名が出席し、標準耐用年数を超過した施設を計画的に整備・更新するため、ストマネ事業管理計画作成、毎年増加傾向にある突発事故への対応方針、またその対応に必要な地元負担金積立の必要性、老朽化施設の突発事故に備えた機能保全計画策定の必要性などについて意見交換を行いました。

会議では、

- ・ストマネ事業管理計画は、各関係者からの要望や老朽化度合を判断し、施設整備の事業を行う優先順を定める。
 - ・当管内には耐用年数超過施設が多いため、突然発生する突発事故に必要な地元負担金を計画的に積立しておく。
 - ・農林水産省の補助事業の要件となっている機能保全計画策定については、施設管理者は老朽化している施設の中で整備優先を定めて作成を進めていく。
- ということが話し合われました。

来年度以降も同様に適切な施設の維持管理、計画的な事業計画ができるよう当推進会議を開催します。



3

農地整備事業における農地集積、営農計画関係研修会

10月31日（金）に登米合同庁舎にて、市や土地改良区、農地整備事業地区の関係者を対象とした「農地整備事業における農地集積、営農計画関係研修会」を開催しました。

研修会では、農地整備後の乾田化を行った大区画ほ場を有効活用するため、農研機構東北農業研究センターの冠グループ長より「乾田直播を軸とした新たな水田利用技術」、当事務所より高収益作物定着に必要な「水田転作畑の排水対策」について講演を行いました。

出席者からは、泥炭地での乾田直播の可能性や節水型乾田直播技術に関する質問がありました。

乾田直播講演の様子



あわせて、令和8年度からの新規事業についても情報提供を行いました。

閉会後も、講師に排水対策を熱心に質問する参加者の姿が見られ、関心の高さがうかがえました。



開会あいさつ

4

水難事故防止について

～間もなく用水時期です～

農業水路やため池で、子どもたちが水遊びや魚釣りに夢中になり、水路やため池に転落し、死亡する事故が後を絶ちません。

間もなく春休みとなり、子どもたちだけで遊ぶ機会が増えますので、子どもたちがフェンスなどを乗り越え危険な場所に立ち入らないよう、お互いが声を掛け合うなど、地域のみなさんで水路やため池での水難事故を防ぎましょう。

土地改良区では、水路やため池の見回り、点検・補修等の対策を実施しています。

みちか いけ
身近なため池
キケン です！



まも いけ
守ろう ため池ルール

- 1 きけんなため池に近づかない
- 2 フェンスの中に入らない
- 3 遊んだり釣りをしない

【ため池事故防止】
まもろね！ため池ルール 動画公開中
(Youtubeに接続されます)

宮城県農政部 農村振興課・農村整備課・農村防災対策室 myagi

5

プレキャスト吸水槽施工の所内現地研修を実施しました



プレキャスト製品を設置している様子



12月23日(火)、所内現地研修として、大型プレキャスト吸水槽の施工現場で設置状況を見学しました。

揚水機場の吸水槽は、従来は現場打ちコンクリートにより施工していましたが、鉄筋加工、型枠工の職人の減少や工期の短縮などから、県では工場であらかじめ吸水槽のパーツ（プレキャスト製品）を製作し、現場で設置、連結する工法を標準としました。

本研修では、登米管内において初めてとなる施工が沼崎・大平地区で行われることから、施工方法やプレキャスト製品の特徴について説明し、実際に施工している様子を見学しました。

従来の施工では完成まで1ヶ月程度の期間が必要なところ、プレキャスト製品を使用することで、部材の設置や部材同士の連結を含め約1週間で施工が完了し、大幅に施工期間を短縮することが出来ました。

当日の研修では、施工の早さに驚く声や多くの質問が寄せられました。



施工方法について説明している様子

6

登米管内土地改良区の女性職員・若手職員の研修会を開催しました

令和8年1月29日、登米・気仙沼地域土地改良区連絡協議会通常総会終了後、同協議会の主催で、登米管内では初の試みとなる女性職員や若手職員を対象とした研修会を実施しました。

研修は、講義、女性理事のトークタイム、グループワークの3部構成で、講義は持続可能な土地改良区の運営について、トークタイムでは登米管内第1号の女性理事である伊豆沼沿岸土地改良区の高橋理事から、農業・土地改良区が抱える問題や、みんなで連携して登米の農業を盛り上げていこうという話がありました。グループワークは、参加者12名が2チームに分かれて「職場環境に想うこと」をテーマに話し合いました。「世の中に土地改良区の存在を知らせたい」、「土地改良区間で情報共有が図られ、横のつながりができると良い」といった意見が出され、研修を見守っていた各理事長は、女性職員や若手職員の考えを聞くいい機会となったようです。

参加者からは、他の土地改良区の様子や話が聞けて良かったとの感想がありました。

多様性とは…



グループワーク



女性理事のトークタイム



このような研修を継続して土地改良区職員の横の繋がりを広げ、管内土地改良区が連携して登米地域の農業を盛り上げていけるよう、今後も支援していきます。

「とめNNだより」は、農業農村整備部(通称NN部)の広報広聴活動の一環として、登米管内の農業農村整備事業に関連する活動を広くお知らせする目的で、年3回発行を予定しております。掲載内容についてお問い合わせ等ありましたら、管理調整班までご連絡ください。

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部 広報広聴委員会 (編集:管理調整班)



〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼 150-5

Tel : 0220-22-5169 Fax : 0220-22-6015

E-mail : et-tmnnbkt@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-ns/>

こちらからも
アクセス出来ます!!

